



青島の風

青島日本人学校だより
平成30年2月5日
校長 金森 孝子

日本を知ること

2月に入りました。日本ではすでに暦の上では立春です。このところ大寒波のニュースが多い日本ですが、もう「梅」はほころんでいるのでしょうか。これから中国での春節、韓国での平昌オリンピックと「逃げる『2月』」が、一層加速度を増しそうな年度末です。

平成30年を迎えてから、学校全体で、日本の文化行事「書初め会」「百人一首大会」「豆まき集会」を実施しました。豆まき集会は青島の特産品であるピーナッツを使用しました。日本の伝統文化を体験するというのが目的の一つですが、書道、遣唐使として長安から望郷の思いを詠んだ「阿倍仲麻呂」の一首など、日本の文化でありながら、中国とのつながりを感じさせるものが多いことに気付きます。

1月12日(金)には、中学部3年生と黄島にある「第九中学」との交流会をもちました。中学といっても年齢は16歳、17歳、日本語を学び、多くは日本への留学を予定している生徒たちです。交流後の中学部3年生林愛梨さんの感想に次のことが書かれていました。『日本に行ったら行くべきところはどこですか』と聞かれて、東京の名所ならかるうじてわかったものの、大阪や京都の名所がうまく伝えられず、もっと日本について知る必要があると感じました。これから、日本と中国の架け橋のような存在になるにあたって、中国の特徴や文化だけでなく、日本の文化や特徴について考えようと思ったこの交流の機会ができたことに感謝したいです。』

グローバルな視野を広げていくには、自国を理解することが不可欠です。児童生徒が自ら感じ考える機会や体験を、これからも青島日本人学校では大切にしていきます。

教室の窓

小学部6年担任 福原快顕

小学部6年生9人には、「夢」があります！それはもうすでに、学習発表会で披露しましたので、ご存知の通りです。そして、仲間と一緒にその「夢」を実現していく決意を表現することができました。この発表ができたのは、毎日、帰りの会で10分間の「クラス会議」に取り組んできた成果だと考えます。

「クラス会議」は、アドラー心理学をベースに、子供たちの自分や友達を大切に作る気持ちを育てたり、自分たちの生活の中での困ったことや問題を乗り越える力を育てたりする活動として、注目されています。「クラス会議」では、主に3つの活動を行っています。

- ① 輪になる。
- ② 「ありがとうみつけ」をする。
- ③ 「議題の話し合い」をする。

「クラス会議」は、シンプルな活動ですが、毎日のように繰り返してきたことで、お互いを認め合う雰囲気、主体的に自分たちやクラスの問題にかかわっていくとする雰囲気を高めていくことができました。また、多くの議題を扱う中で、クラスの仲間は自分を支えてくれるという気持ちや、クラスに問題があっても自分たちで考えて変えていけるという気持ちを育てることができたと思います。

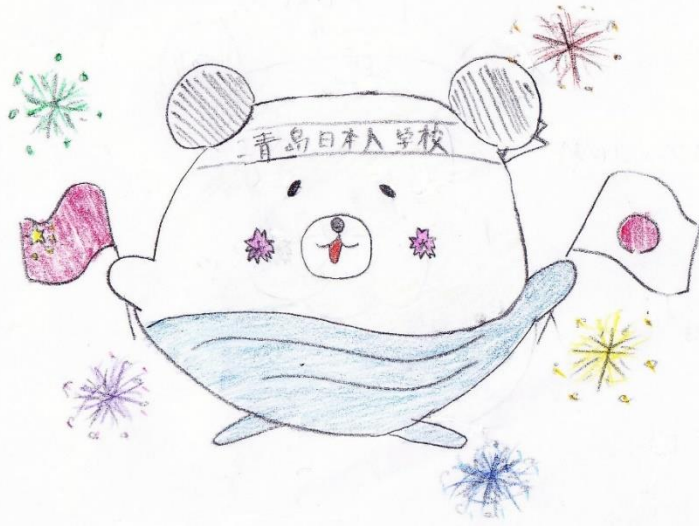
これからいろいろな道に歩いていく9人が、笑顔とともに、自信をもって進んでいく姿が本当に楽しみです。世界一素敵で6年生の凜とした姿を、卒業式でご覧ください。



青島日本人学校 ゆるキャラ誕生

特別活動主任 西村拓也

青島日本人学校をよりよい学校にしようということで始まったゆるキャラ制作企画。まず始めに、児童生徒会本部から全校児童生徒に青島日本人学校オリジナルのゆるキャラを募り、5つの候補を決めました。そして、候補5つの中で児童生徒による投票を行った結果、小学部5年、加藤莉奈さんの「ぱんたお」が青島日本人学校ゆるキャラに決まりました。これから様々な機会に、児童生徒の笑顔のため、登場・活躍する「ぱんたお」にどうぞ注目ください。



青島の海をイメージしたウェーブ状の体。
青島の桜が咲くほっぺた。
パンダの耳。
日中の旗を持ち、日本も中国も大好き。
爆竹がパンパン鳴っているかのような華やかさ。それらを併せもつ青島日本人学校のゆるキャラが誕生しました。

パンたお

心も体も温まる PTA 冬行事 ありがとうございました

教頭 神部優美

1月17日(水)にPTA主催の『給食体験』と『中国文化鑑賞』がありました。

「青島日本人学校の児童生徒にも給食体験をさせてあげたい」という、保護者の皆さまの思いからスタートし、毎年、児童生徒そして私たち職員がとても楽しみにしている行事の一つです。

4時間目が終わり、ともだちランチ班の教室に足早に向かうと、アツアツのお鍋が運ばれてきました。「早く食べたい!」という気持ちをぐっとこらえ、お母さま方からのお話を聞いたあと、小学部5、6年生と中学部の児童生徒が、一人ひとりに豚汁をつぎ分けてくれました。「いただきま〜す」の合図と同時にフーフー言いながらおいしい豚汁を味わいました。

昼食後には、「雑技」と「カンフー」を鑑賞しました。次から次へと繰り広げられる達人の妙技に圧倒されました。また、後半にはカンフー体験の時間があり、児童生徒たちがカンフーの達人になり切り、気合いを入れてポーズをきめる姿がとても印象的でした。

PTA 役員の皆さま、ボランティアで参加いただいた保護者の皆さま、貴重な体験を本当にありがとうございました。



教室の窓

中学部2年担任 神部優美

1人でスタートした2学期。「転入生が来ますように!と毎日、祈っていたらその願いが叶いました」…と話していたのを思い出します。2人きりの中学2年生ですが、たくましく元気に学校生活を送っています。

2人ともたいへん仲がよく、ときには本音をぶつけ合い、お互いに協力し合っています。委員会活動や学校行事等では、3年生に代わって全校の児童生徒をリードしていかなければなりません。

誰からも慕われるリーダーに成長してくれることを日々願っています。



